

令和2年11月12日（修正版）

調査にご協力いただいた皆さま

公益財団法人日本野鳥の会
自然保護室

環境省請負「令和元年度ナベヅル、マナヅルの全国飛来状況調査」 ご協力のお礼と結果概要版について

昨年度は「ナベヅル、マナヅルの全国飛来状況調査」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本調査は、本種の越冬地の分散化対策等保全事業の一環として毎年実施しています。皆様のご協力により多くの情報が集まり、国内に越冬地を復元するための貴重なデータを得ることができました。

昨シーズンの結果をお送り致しますので、ご査収ください。情報の修正や加筆等ありましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

今後もツル類の保護のため、引き続きご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

記

- ・令和元年度ナベヅル、マナヅルの全国飛来状況調査の結果（概要版）

担当：自然保護室 伊藤

Eメール：ito-k@wbsj.org

電話：03-5436-2633（現在、在宅勤務導入により、平日13-15時となっております）

以 上

「令和元年度ナベヅル、マナヅルの全国飛来状況調査」の結果 (概要版)

(公財) 日本野鳥の会 自然保護室

(1) 目的

ナベヅル及びマナヅル(環境省レッドリストカテゴリー:絶滅危惧Ⅱ類、IUCNカテゴリー:VU)は、越冬期には鹿児島県出水市に世界のナベヅルの9割、マナヅルの4割が飛来している。このような一極集中の集団渡来地においては、感染症による大量死の発生のおそれや農業被害の拡大があることから、国内のかつてツルが分布していた地域等に分散させる必要がある。

本調査は、これらのツル類の新越冬地形成等のため、鹿児島県出水地方以外の今シーズンにおける国内の飛来状況を把握するために実施した。

(2) 方法

野鳥観察・保護団体、自治体、報道情報を対象に、それぞれの地域で目撃された情報を収集した。渡り途中の一時的な立ち寄りについても含めた。

・自治体

全国の都道府県及び過去にナベヅルまたはマナヅルの飛来記録のある市町村に対して調査票を送付し、飛来情報の提供を依頼した。

・野鳥及びツル関連団体、個人

全国の野鳥観察・保護活動を行っている日本野鳥の会の連携支部やツル類の観察・保護団体、個人に調査票を送付し、飛来情報の提供を依頼した。また、各団体が定期発行している機関誌を閲覧し、情報を抽出した。

・報道情報

新聞・雑誌の記事情報データベースにおいて、「ナベヅル」「マナヅル」をキーワードに検索し、飛来情報を抽出した。

(3) 調査期間

令和元年10月1日～令和2年2月10日

※調査期間後も飛来情報は逐次追加した。

環境省請負「令和元年度ナベツル、マナヅルの全国飛来状況調査」調査用紙

【対象期間】 2019年10月～2020年2月 【対象地域】 鹿児島県出水市以外の全国

所属団体・自治体名

氏名

電話番号

部署名

メールアドレス

FAX

一 次 回 よ り、電 子 デ ー タ を お 送 り し ま す の で ご 記 入 く だ さ い。
 御 所 属 先 の 代 表 メ ー ル ア ド レ ス が あ る 場 合 は、そ ち ら を ご 記 入 く だ さ い

1. 越冬・飛来情報の有無 **あり** **なし** **(○で囲む)** **※一時的な飛来、上空通過も含みます。**

2. 飛来状況の詳細

都道府県	市町村	詳細地		種類	確認個体数 (うち成鳥、幼鳥)	観察期間	飛来地の環境	ねぐらの場所	生息を脅かす要因	備考 (情報元、採餌物、環境変化等) ※可能な範囲で
		地名等	情報の公開可否 ※観測記録は4月以降							
熊本県	玉名市	横島町共栄 (横島干拓)	○ or ×	マナヅル	3(成鳥2,幼鳥1)	2019/11/16 ～ 2020/1/18	水田	熊本県●●川の中 州	散歩や観察者の接近により飛び 去った。 時々、銃弾の使用(有毒鳥駆除) もあり、影響が大きい考えられる。	ねぐらが年々縮小している

例

※ 飛来地の地図や写真等がございましたら併せてご送付ください。
 ※ ナベツル、マナヅル以外のツル類(ワシ、カバヅル、ソテツドリ等)の追加等によりご利用ください。
 ※ 記入欄が足りない場合は、コピーや行の追加等によりご利用ください。
 ※ 個人情報については、本業務のみの使用に限り、公開することはありません。
 ※ 締め切りは**2020年2月10日(月)**です。

【送付先】(公財)日本野鳥の会自然保護室
 担当: 菅野、伊藤 E-mail: hogo@wbsj.org
 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23丸和ビル
 FAX: 03-5436-2635 電話: 03-5436-2633

☒ 調査用紙

(4) 結果

各地から寄せられた情報のうち、出水以外で飛来が確認されたのはナベヅルが 14 県 21 ヶ所、マナヅルでは 7 県 15 ヶ所だった。

このうち、一か所で連続 10 日間以上滞在した地域は、ナベヅル 7 か所、マナヅル 6 か所だった(表 1、2)。越冬期の最盛期である 1 月中旬に滞在が確認された個体を出水以外で越冬した個体とすると、ナベヅルは 5 か所で合計 240 羽、マナヅルでは 4 か所で合計 55 羽だった。

越冬地点数については、両種ともに前年度より減少し(図 1)、これまでの平均(ナベヅル 7.2 地点、マナヅル 5.7 地点)と比べても少なかった。今季は、石川県加賀市や島根県出雲市・安来市にまたがる宍道湖・中海周辺地域といった、ここ数年で定期的にナベヅルの越冬が確認されていた地域で飛来が見られず、愛媛県西予市ではツルの定着が 1 月下旬だったため、本調査では越冬から除外した。

越冬個体数については、ナベヅルは前年度よりは減少したが(図 2)、近年増加傾向である。諫早干拓の飛来・越冬数が毎年増加しているため、この値が全体の増加の要因といえる。マナヅルについては、これまでの平均(60 羽)と比べて、やや減少した。越冬地点数が少なかったことが要因と思われる。

表 1 一か所で連続 10 日間以上の滞在が確認された地域と越冬地域【ナベヅル】

No.	都道府県	市町村	詳細地	個体数(計)	個体数(成)	個体数(幼)	観察期間(飛来)	観察期間(飛去)	滞在日数	越冬地域	越冬数
1	鳥取県	鳥取市	気高町日光	2	2	0	2019/12/25	2020/1/5	12		0
2	山口県	周南市	八代	2-13	2(9)	0(4)	2019/11/29	2020/2/10	74	●	10
3	愛媛県	西条市	禎瑞、西泉、古川乙	2-4	2(4)	0	2019/12/20	2020/2/13	56	●	2
4	愛媛県	西予市	宇和町	6-9	7	2	2020/1/28	2020/2/10	14		0
5	高知県	四万十市	森沢	3-25	19	6	2019/10/28	2019/11/23	27		0
	高知県	四万十市	森沢	3-25	19	6	2019/12/4	2020/1/28	56	●	9
6	熊本県	玉名市	横島町・岱明町	2-6	4	2	2019/12/9	2020/2/10	64	●	5
	熊本県	玉名市	横島町・岱明町	1	1	0	2019/12/9	2019/12/25	17		0
7	長崎県	諫早市・雲仙市	森山干拓、吾妻干拓、中央干拓	4-316	—	—	2019/11/1	2020/3/6	127	●	214
越冬地域と越冬数(合計)										5	240

※ 長崎県諫早市・雲仙市は日ごとに個体数の変動があるため、越冬数は1月10-20日の平均値を採用した。

※ 直近の出水のナベヅル渡来数 12/21時点 13,510羽(今季最多 11/23時点 14,967羽)(出水市ツル博物館HP)

表2 一か所で連続10日間以上の滞在が確認された地域と越冬地域【マナヅル】

No.	都道府県	市町村	詳細地	個体数(計)	個体数(成)	個体数(幼)	観察期間(飛来)	観察期間(飛去)	滞在日数	越冬地域	越冬数
1	青森県	北津軽群中泊町	大字田茂木若宮	1	1	0	2019/11/10	2019/11/29	20		0
2	青森県	鶴田町	津軽富士見湖(廻堰大溜池)	1	1	0	2019/12/14	2019/12/29	16		0
3	佐賀県	伊万里市	東山代町	2-3	2(3)	0	2019/11/9	2020/2/6	90	●	3
4	長崎県	諫早市・雲仙市	森山干拓、吾妻干拓、中央干拓	2-60	—	—	2019/11/15	2020/2/3	81	●	32
5	熊本県	玉名市	横島町共栄	3-18	3(14)	1(4)	2019/11/15	2020/2/10	88	●	17
6	熊本県	天草市	河浦町河浦(釜)、久留	4	3	1	2019/12/5	2020/2/10	68	●	3
越冬地域と越冬数(合計)										4	55

※ 長崎県諫早市・雲仙市は日ごとに個体数の変動があるため、越冬数は1月10-20日の平均値を採用した。

※ 直近の出水のマナヅル渡来数 12/21時点 1,642羽(今季最多)(出水市ツル博物館HP)

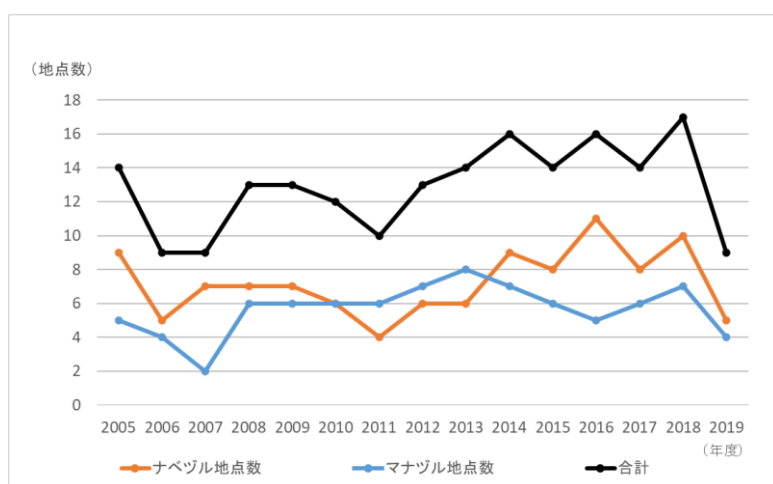


図1 2005年以降の結果(地点数)

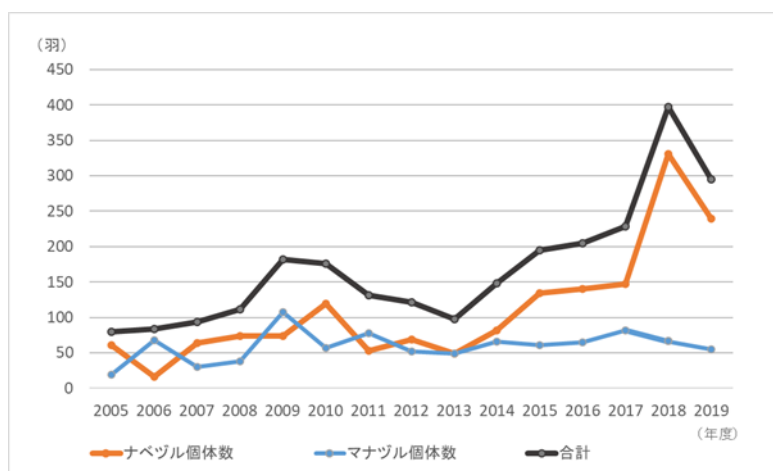


図2 2005年以降の結果(個体数)